



ぶえん鯉スタンプラリー抽選会
 ■6月27日、水産センターで行われました。今回で11回目を迎え、北海道から九州まで全国各地の人たちが参加しました。応募総数は1,177件でした。



今年も水難事故が起きませんように

■水難事故への注意喚起と水の恵みに感謝する行事「水神講」が、7月2日に山下公民館で行われました。公民館での神事後、参加した子どもたちは、今年も水難事故が起きないように、花渡川でお参りをしました。



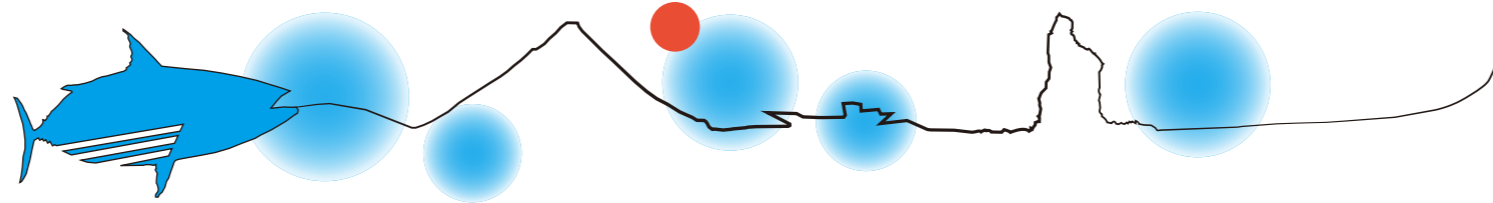
それぞれの想いを力強く発表

■枕崎市中学校弁論大会が7月11日、市民会館で開催され、市内各中学校の代表8名が発表しました。今年度から枕崎市中学校生徒連盟が中心となって司会・進行、あいさつ、審査等を行いました。



田んぼの中を全力疾走

■7月21日、枕崎青年会議所が主催する青少年研修スクールが開催されました。桜山周辺の史跡を巡る謎解き火おこしや薪割り体験が行われたほか、田んぼの中で泥リンピックが開催され、子どもたちは元気に走り回っていました。

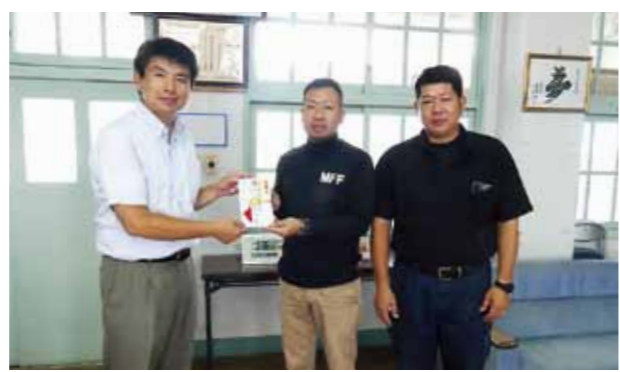


第28回東海枕崎会総会を開催
 ~投稿者：東海枕崎会会長 宮原寛信さん

投稿

7月8日、名古屋国際ホテルで第28回東海枕崎会の総会・懇親会を行いました。枕崎からも前田市長、新屋敷議長、西村県議、また近畿枕崎会の豊田会長、関東枕崎会の川越会長にも出席いただき、総勢70人でカツオの刺身、つけ揚げなどをさかんなに薩摩酒造さん提供の白波を飲み交わし、来賓の方々から枕崎の話聞きながら故郷を思い、久しぶりに会った者同士、枕崎弁そのままでは話尽きませんでした。ちょうど、大相撲名古屋場所に来られていた第36代木村庄之助の山崎敏廣さんがひょっこり顔を出してくださり、びっくりの大サプライズでした。せっかくなので、値千金の相撲甚句を聞かせてもらい、皆さん大喜びでした。最後は、全て枕崎から取り寄せた「ラッキープレゼント」を持ち帰ってもらいました。

近年参加者の減少が続いています。皆さんの親族・お知り合いの方で東海地区にいらっしゃる方に、ぜひ東海枕崎会に出席くださるようお願いください。おいでいただければそこは1日、丸ごと枕崎です。来年は7月7日に行う予定です。
 ◎会長 宮原寛信 TEL 0568-73-5326



枕崎中学校に寄附金を贈呈
 ~投稿者：平成4年度枕崎中学校卒業40歳同窓会

投稿

6月28日、平成4年度枕崎中学校卒業40歳同窓会の代表2名が母校の枕崎中学校を訪れ、石塚宏志校長に寄附金を贈呈しました。今回の寄附金を子どもたちのために活用していただければとても嬉しいです。

安楽義信さんが全国大会へ
 ~第64回全国アマチュア本因坊決定戦鹿児島県大会

6月17日、鹿児島市の日本棋院鹿児島市支部で毎日新聞社、日本棋院主催の第64回全国アマチュア本因坊決定戦の鹿児島県大会が開催され、本市の安楽義信さんが優勝し、8月に東京で開催される全国大会に出場することになりました。

安楽さんは大学時代に囲碁に出会い、それ以来、囲碁を続けてきました。今回が10年ぶりの全国大会出場ということです。

安楽さんは「全国大会では、枕崎、鹿児島の名をあげるために頑張ります。また、毎週木曜日、12時より城山センターで囲碁同好会を開催しています。興味のある方は、ぜひご参加ください」と話しました。



平田町自主防災会が自主訓練を実施
 ~平田町自主防災会自主訓練

6月24日、平田町自主防災会が、妙見センターで自主訓練を実施しました。平田町自主防災会は、昨年3月に組織を結成し、今回が2回目の自主訓練の実施となります。

訓練は、大雨を想定し実際に避難所まで徒歩で移動し、受付確認や傷病者の対応などを行ったほか、鹿児島県地域防災アドバイザーの福崎純孝さんを招いて地域の防災マップの作り方を学ぶ図上訓練を行いました。

平田瀧公民館の野村和弘館長は「これからも自主訓練を続け、災害に強い平田瀧公民館を皆で作っていききたいと思います」と話していました。



枕崎でよさこいが躍動
 ~枕崎よさこい祭り

7月8日、枕崎駅前前広場(メイン会場)、駅前駐車場(サブ会場)でかつおのまち枕崎よさこい祭りが開催されました。

当日はあいにくの雨でしたが、県内外から約30チーム、約400名の参加者が枕崎に集結しました。各チームが個性豊かなよさこいを披露し、来場者からは大きな声援・拍手が送られました。



児童たちが南極の氷に触れる
 ~立神小学校で南極の水贈呈式を開催

7月12日、海上自衛隊の南極観測船「しらせ」が採取した南極の氷が立神小学校に贈られ、贈呈式が体育館で行われました。児童たちは、通常の氷と比較しながら南極の氷に触れたり、耳を近づけて音を聞いたりして、南極の氷の特徴を確かめました。

2年3組の宮崎喜衣さんは「冷たくて気持ちよかった。氷はパチパチという音がした」と話してくれました。また、ほかの児童からは「南極の氷は食べられますか」「どうして南極の氷は日が当たっても溶けないのですか」などの質問もあり、南極の氷に興味深々でした。